



## 菅政権とケインズ政策

リーマン・ショック以降、主要先進国はおしなべて財政拡大政策を採用した。いわゆる「ケインズ政策」である。そしていま、その「出口」を模索して悪戦苦闘している。日本もそうした先進諸国の中にあるはずだが、いささか様子が違う。菅政権は小さな政府には反対であり、ケインズ政策に同調する人々が多いと言われている。しかし決してそうではないのだ。

そもそもケインズ政策は、経済が大幅に停滞し需要不足が生じた場合に、政府が歳出を増やして需要を拡大するというものだ。これは不況期の処方箋としては全く正しいし、メイン・ストリームの経済学でも正当に受け入れられている。しかし現実の世界で、こうした「ケインズ政策」は必ずしも多用されてはこなかった。それは大きく二つの理由による。第一は、経済取引では『利己心』が重視されているのと同様に政策決定でもプレイヤーの利己心が働き、政策にバイアスが生じるリスクが大きいからだ。具体的に、不況期に財政規模を拡大することは容易に行われるが、好況期にこれを縮小することは政治的に難しい。結果的に、ケインズ政策は財政赤字を拡大させるというバイアスを持つのである。こうした点を分析したジェームズ・M・ブキャナンは、ノーベル経済学賞を受賞している。第二は、いわゆるオープンエコノミーの下では「財政拡大—金利上昇—為替切り上げ」というメカニズムが働いて、財政拡大効果が減殺されるためである。

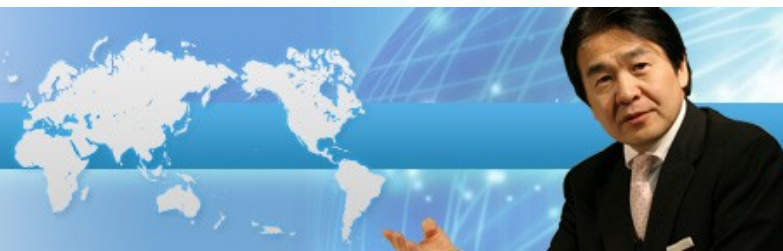
こうしたことから、日本を除いて先進工業国では財政政策への依存は極めて低く、金融政策への依

存が高くなっていた。しかしリーマン・ショック以降の経済状況では、金融政策の効果にも疑問が生じ、財政政策の活用が世界的な傾向となっていった。米国と中国は特に大幅な財政拡大を行ったのに対し、インフレへのアレルギーを有する欧州諸国はやや腰が引けていたが、それでも大きな財政赤字を抱えるようになったのである。従って経済の落ち込みが止まった昨年後半以降は、多くの国で、拡大した財政赤字をいかに収縮させるか、いわゆる「出口」の模索が続いてきた。

問題は日本である。主要20ヶ国・地域首脳会合(G20)において各国は、日本に対して急激な財政赤字縮小を求めなかったことが報じられている。その最大の理由は、日本においてはまだ十分なケインズ政策が採られていないからである。これは、財政赤字が極めて大きな日本の現状と矛盾していると受け取られるかも知れない。しかし、現状の日本の需給ギャップは、控えめに見ても国内総生産(GDP)の5%程度に達すると考えられており、だからこそ深刻なデフレ(物価下落)が続いている。G20の日本に対するメッセージは、「短期的にもっと積極的なケインズ政策を採れ」というものと理解しなければならない。

菅政権は来年度予算の編成に取り掛かっている。しかしその際目標としているのは、国債発行額を今年度並みの44兆円にすることである。メディアはもっぱら、財政再建への取り組みの甘さを主張する。しかし世界の世論はその逆であり、大幅な需給

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com



## 菅政権とケインズ政策

ギャップ(需要と供給の間の乖離)が存在するなかで「財政中立」の(積極財政ではない)日本への批判がくすぶっているのだ。

一般に菅政権はケインズ政策に前向きな発言をしているが、実はケインズ政策の「基本」を実行していない。これは不可思議な経済政策思想と言わねばならない。

本レポートは、投資判断の参考となる情報の提供を目的としたものであり、投資勧誘を目的として提供するものではありません。投資方針や時期選択等の最終決定はご自身で判断されますようお願いいたします。また、本レポートに記載された意見や予測等は、今後予告なしに変更されることがございます。なお、本レポートにより利用者の皆様に生じたいかなる損害についても、株式会社外為どっとコム総合研究所ならびに株式会社外為どっとコムは一切の責任を負いかねますことをご了承願います。Copyright©2010 Gaitame.com Research Institute Ltd. All Rights Reserved. www.gaitamesk.com